

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	個性豊かな文化芸術の発信				予算施策コード	sb07
担当部局名	観光スポーツ文化部 文化局	文化振興課	評価責任者	課長 大崎 陳洋	連絡先	5480

1 施策の内容

施策の目標	県民を対象に、豊かで優れた文化芸術を発信し、豊かな感性や創造性を育むとともに、文化芸術を通じた地域振興に取り組む。
これまでの取り組み	<p>豊かで優れた文化芸術の鑑賞や体験等に、より触れる機会の充実を図るとともに、文化の持つ力や地域の魅力を活用した新たな愛媛文化を県内外へ発信することにより、「愛顔」を提唱する本件ファン獲得、さらには、文化の創造を担う人材の育成を目指し、次の取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○優れた芸術に触れる機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術性の高い魅力ある美術館展示 ○新たな愛媛文化の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・愛顔感動ものがたり発信事業の実施 ・愛媛国際映画祭の実施 ○文化創造を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども芸術祭の開催

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	事業への参加者数	B	美術館年間利用者数(単位:千人)							
選択理由	文化芸術の発信、文化創造を担う人材の育成という施策の指標としては、当該事業(愛顔感動ものがたり発信事業、愛媛国際映画祭、えひめ愛顔の子ども芸術祭)への参加者数が適当である。なお、愛媛国際映画祭、子ども芸術祭は隔年開催のため最終目標は設定しない。	選択理由	豊かで優れた文化芸術の発信という施策の指標としては、芸術文化の拠点施設である美術館の年間利用者数が適当である。							
算定方法	各事業への参加者数の積み上げ	算定方法	利用者の年間延べ人数							
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラスマイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			千人			千円					
元年度	24,000	20,072	83.6%	360	371	103.1%	161,174	39,414	71,290	50,470		54,110
2年度	9,100	10,246	112.6%	360	156	43.3%	243,365	137,767	55,352	50,246	210,823	61,576
3年度	14,000	15,341	109.6%	360	185	51.4%	468,981	357,417	59,776	51,788	219,304	57,475
4年度 目標値	24,100			375			4年度当初予算					
最終目標	—			375								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	平成29年6月「文化芸術基本法」が公布・施行され、観光やまちづくり等の各関連分野における施策が同法の範囲に取り込まれ、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展、創造に活用することとされた中、文化施策には、経済成長や地方創生等の実現性が潜在していると考えられるところ。同法では、「地方公共団体の責務として、「文化芸術に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的にその地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と規定されているところであり、県関与の必要性は高い。				
高い							
成果指標A		説明	「愛顔感動ものがたり発信事業」は、応募数の増加や応募地域に広がりが見られ、今後大都市圏でのPR等、より積極的な広報に務めることで、更なる発信力強化が見込まれる。				
成果動向	横這い		「愛媛国際映画祭」は令和3年度は、新型コロナの影響により、一部事業の中止・延期、規模縮小を余儀なくされたところであり、令和4年度は市町上映イベント等を実施しながら令和5年度に向けた検討を進めることとしており、今後、愛媛らしい映画祭として発信することが見込める。				
成果向上余地	成果向上が可能		「えひめ愛顔の子ども芸術祭」は、創作活動期間確保のため隔年開催としているが、広く作品を募集することで、更なる発信力強化が見込まれる。それぞれの取り組みにより、本県独自事業の更なる発信力強化に努めたい。 なお、最終目標については、各事業の実施方法が随時見直されることから設定が困難であるため記載していない。				
成果指標B		説明	美術館では、中期運営計画(令和元年度から5年度まで)に基づき、入館者の増加に向け、各種事業の充実に努めているところである。県民ニーズを捉え、企画内容に反映していくことで全国の都道府県立美術館の中でも上位の観覧者数を得ていたが、令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響による観覧者数の減少が続いており、影響の長期化が懸念される中、来館者数の回復が課題となっている。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.10	順調・向上	成果向上余地	2.00	大幅な成果向上が可能

今後予測される環境変化	<p>少子高齢化の急速な進行の中、増加する中高年世代の方々が自己実現を図り、心豊かで健康的な生活が送れるよう豊かで優れた文化芸術の発信が一層求められるものと考えられる。一方、子ども世代にとっては、豊かな人間性や創造力を育むうえで文化の果たす役割は大きく、文化継承のためにも文化に接する機会の提供の必要性は高まるものと考えられる。また、近年の著しい社会変革の中においては、文化施策の取組みにより、社会的・経済的価値の創出も見込まれるものと考えられる。</p>
-------------	--

3 施策の今後の方向性

<p>各事業は所期の目的の実現に向けて実施されており、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少するというやむをえない事情があるなかで、着実に成果を上げているものもあり少なくとも横ばいを維持している。</p> <p>引き続き、ウイズコロナ、アフターコロナ期にあっても本県独自の(当施策構成)事業により、上質で優れた文化芸術を発信し、豊かな感性や創造を育むとともに、文化芸術を通じた地域振興の取組みに繋げるにより、さらなる向上に努めていく。</p> <p>事業費については、さらなる事業展開を推進するとともに、既存内容の見直しも行うこととし、特定財源や民間活力も積極的に活用する。</p>
--

4 美術館展示事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	195000	195000	195000	195000	204000	事業費計	98,171	78,243	85,767	63,340	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
成果	+	70-	企画展及びコレクション 展の観覧者数	人	実績	159469	61728	62722		国費									
					達成率	81.78%	31.66%	32.17%		その他	67,690	47,752	55,276	33,562	見直し 方向性	方向1	方向2	方向3	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	360000	360000	360000	360000	375000	事業費計	98,171	65,642	85,767					方向1
成果	+	70-	総入館者数	人	実績	371765	156205	185126		国費					このまま継続				
					達成率	103.27%	43.39%	51.42%		その他	68,006	38,161	51,370	見直し 方向性		方向1	方向2	方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画	5	5	5	5	5	事業費計	98,171	65,642		85,767				方向1
活動	+	70-	企画展開催回数	回	実績	5	4	4		国費					このまま継続				
					達成率	100.00%	80.00%	80.00%		その他	30,165	27,481	34,397	見直し 方向性		方向1	方向2	方向3	
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	5.3	5.3	5.3		このまま継続				
H11			県民に多様な美術鑑賞の機会を提供するため、年間を通して魅力のある企画展を開催するとともに、美術館のコレクション展示の充実を図り、本県の芸術文化の振興に資する。							人件費	36,072	35,860	32,065	このまま継続					

5 アートの森プロジェクト事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画		11000	11000	11000		事業費計	0	1,270	1,170	1,254	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
成果	+	70-	事業の参加人数	人	実績		2724	4234		国費					新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、コレクション展の開催期間が短縮及び変更となったことにより、事業の参加人数が大幅に減少した。イベントについては多彩な内容により事業の目的を達成している。				
					達成率		24.76%	38.49%		その他		1,000	900	900		見直し 方向性	方向1	方向2	方向3
指標種類2	指標名称2			単位	計画		3	7	6		事業費計	0	1,254	1,160	方向1				
活動	+	70-	関連イベントの開催回数	回	実績		6	3		国費						このまま継続			
					達成率		200.00%	42.86%		その他		984	890	見直し 方向性	方向1		方向2	方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画					国費						このまま継続			
					実績					その他		270	270	見直し 方向性	方向1		方向2	方向3	
					達成率					国費						このまま継続			
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役		0.2	0.2	このまま継続					
R2		R6	県産材を使用した額や展示具等を作成し、これらを使用した「森林」に関するテーマのコレクション展を開催することで、県産材の魅力を子どもを始めとした県民に広く伝え、会期中に関連イベントを開催することで、森林と美術についての理解を深める機会とする。							人件費		1,354	1,210		このまま継続				

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

s b 07

個性豊かな文化芸術の発信

1 文化芸術鑑賞等促進事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	事業費計	国費	その他	県費	人役								
評価対象外の理由	0	0	109548	0	0	0	0	90,183	0	0	0	90,183	
単年度事業			109548					90,183				90,183	
評価対象外その他の理由(記述)												0.2	
												1,210	
2 美術館デジタル活用魅力発信事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)			
事業費計	0	0	3953	0	0					0	0	3,911	0
単年度事業			3953					3,911				3,911	
評価対象外その他の理由(記述)												0.6	
												3,630	
3 スポーツ観戦・文化芸術鑑賞等促進事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)			
事業費計	0	0	200736	0	0					0	0	0	0
9月補正より後に新たに予算計上			200736					0				0	
評価対象外その他の理由(記述)												0.1	
												605	
4 美術館地域芸術文化活性化事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)			
事業費計	0	0	23821	0	0					0	0	0	0
9月補正より後に新たに予算計上			23821					0				0	
評価対象外その他の理由(記述)												0.0	
5 美術館新文化スタイル定着促進事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)			
事業費計	0	74370	1613	0	0					67,866	0	1,414	0
単年度事業		74370						67,866				1,414	
評価対象外その他の理由(記述)			1613								0.6	0.6	
大幅な事業内容の変更								4,060				3,630	

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名 s b07 個性豊かな文化芸術の発信

1 美術館文化観光推進事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	5,520
	国費	3,680
	その他	
	県費	1,840